

2013年度日本木材学会中部支部大会（富山）実施報告

中部支部大会（富山）実行委員長

富山県農林水産総合技術センター木材研究所 森松 亮

2013年度日本木材学会中部支部大会が11月14日、15日の両日富山市において開催されました。14日は、雄大な立山連峰がすっきりと望める絶好の開催陽和となりました。

1日目の会場は富山国際会議場で、11時30分より約1時間の予定で評議員会を、13時30分より3会場で口頭発表（発表件数30件）、交流ギャラリーでポスター発表及び企業展示（発表32件、展示16件）が行われました。評議員会では、支部大会優秀発表賞及び地域功労賞授与に関する諸規定について審議され、地域功労賞は2014年度より実施することが決定されました。また、翌年度の支部大会を長野県で、2016年の全国大会を名古屋大学で開催予定とすることとなりました。

午後の研究発表では、参加者112名（一般84名、学生28名）という支部大会としては例年にない大規模なものとなり、口頭発表会場を急遽3会場とするなど、盛況な発表会となりました。木材学会本部の杉山学会会長にも参加いただき、誠にありがとうございました。懇親会は富山県民会館に会場を移し、参加者66名のもと、開会前には金山支部長より、優秀発表賞の表彰式（受賞者は下部に記載）があり、荒屋富山県森林政策課長の歓迎挨拶、杉山学会会長の来賓挨拶、金山支部長の乾杯で賑やかに開催しました。富山の地酒や富山湾の魚を堪能いただき、あつという間の2時間となりました。

2日目は、エクスカージョンとして、富岩水上ラインで移動して、富山市岩瀬地区の伝統的木造建築を職藝学院上野教授の解説により見学しました。参加者53名でした。あいにくの雨天となりましたが、町並み見学の頃には雨も上がり、盛況のうち終了することができました。

今回の支部大会につきましては、県内外から多数の参加をいただき、大会を盛り上げていただいたことに深く感謝申し上げます。なお、残念ながら今回も学生の方々の参加が少ないことが課題として残りました。次回は長野県での開催です。多くの方々の参加を願いたいものです。

優秀発表者（発表者）

【口頭発表】

- ・「裸子植物 *Gnetum gnemon* が作る特異なあて材」
（名大院生命農）○白井達也，松尾美幸，田中緑，吉田正人，山本浩之，
（Mulawarman Univ.）Abubakar M.Lahjie
- ・「伝統的構法の実大振動実験に基づく耐震性能評価」
（富山木研）○清水秀丸，（立命館大）鈴木祥之
- ・「野生型エノキタケの無殺菌培養の開発」
（富山森研）○高島幸司

【ポスター発表】

- ・「広葉樹材の材質を支配する組織構造因子」
（名大院生命農）○稲継実栗，松尾美幸，佐藤彩織，吉田正人，山本浩之，
（愛知県林業セ）豊嶋勲，鈴木祥仁，山下昇
- ・「木質系材料の流動成形における調色技術の開発」
（岐セン(株)）○杉野秀明，山下達也，
（産総研）三木恒久，関雅子，重松一典，金山公三